

2022年10月期 通期決算説明資料

株式会社モルフォ
(東証グロース:3653)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。

Vision



Rise above what we see, to realize what we feel

-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

2022年10月期 連結決算 概要

■ 業績が着実に改善

売上は前年同期比266百万円増加(YoY+15.4%)、営業利益も前年同期比293百万円改善。
四半期ベース(8~10月の3カ月間)の売上も前年同期比87百万円増加(YoY+17.4%)し、売上回復基調継続。

■ プロダクト開発及び新規事業が進捗

SD事業において、ビデオ会議の普及によるPCカメラ向けソリューションへのニーズの高まりを受け、ビデオ会議向け画像処理/AI技術のプロダクト開発を強化。ビデオ会議向け背景ぼかし技術において、グローバルPCメーカーでの採用が進む。

車載/モビリティ事業において、2021年9月に資本業務提携を締結したミックウェア社とともに、既存ビジネスの付加価値向上と新規ビジネス協創を推進。ミックウェア社の録画データ流通サービスに道路の不具合検知技術を提供し、2022年11月より開始した足立区での道路監視の実証実験において活用が進む。

■ 業績改善加速

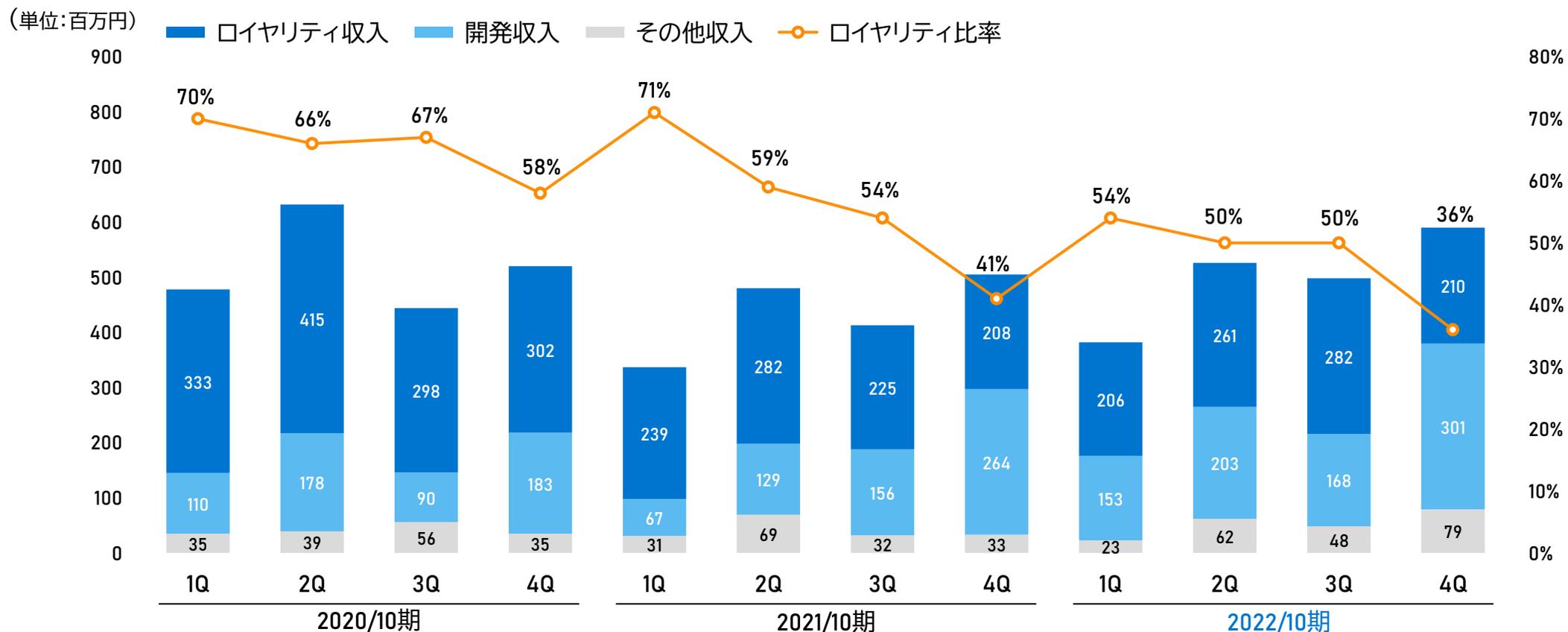
20期業績は売上2,400百万円(YoY+20.2%)、営業利益△250百万円(YoY+339百万円)を計画し、21期の黒字転換を目指す

- 売上：開発収入増加が寄与し前年同期比+15.4%
- 費用：売上原価増加するも、販売管理費減少の影響により前年同期比△1%
- 営業利益：前年同期比+293百万円
- 当期純利益：特別損失(固定資産の減損処理)を92百万円計上

(単位:百万円)	2021/10期	2022/10期	増減
売上	1,730	1,997	+266
営業費用	2,612	2,585	△26
営業利益	△881	△588	+293
経常利益	△841	△510	+330
親会社株主に帰属する 当期純利益	△793	△668	+125

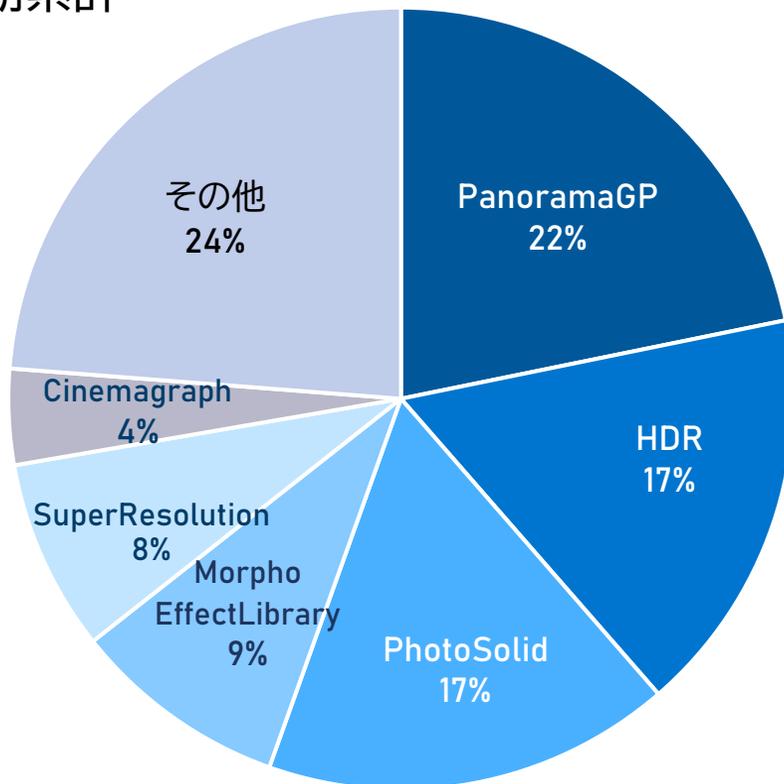
売上収益構成 - ビジネスモデル別 -

- ロイヤリティ収入：SD(スマホ・PC)領域における主要顧客との取引が安定的に推移
- 開発収入：DX(OCR)及び車載機器向けの開発案件が好調に推移し、4Q(8～10月)はYoY+14%、QoQ+79.1%
- その他：コンサルティング・サポート収入が堅調に推移

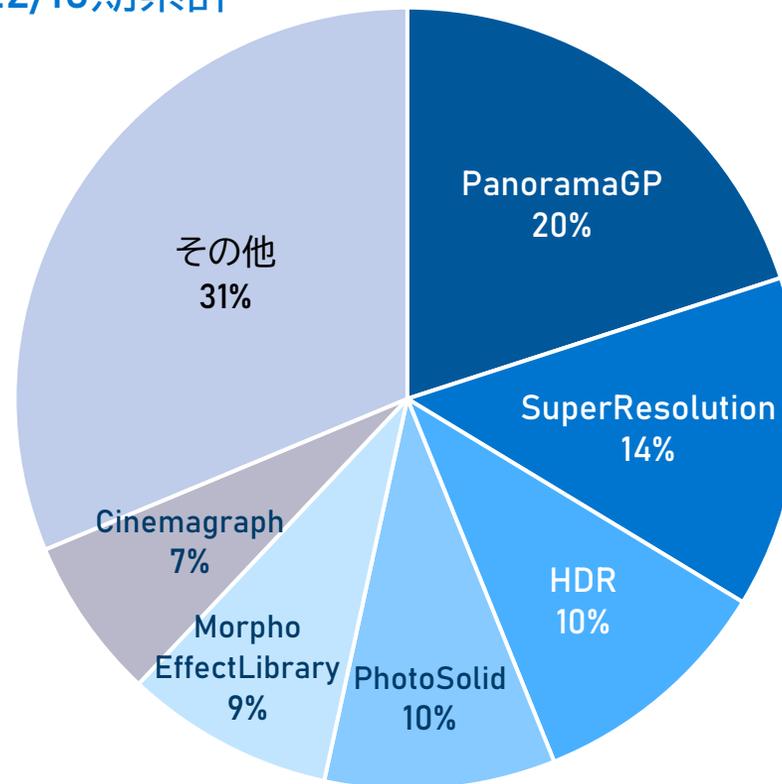


- 主要製品ラインナップに変更ないものの、機能向上/機能追加により継続契約獲得

2021/10期累計

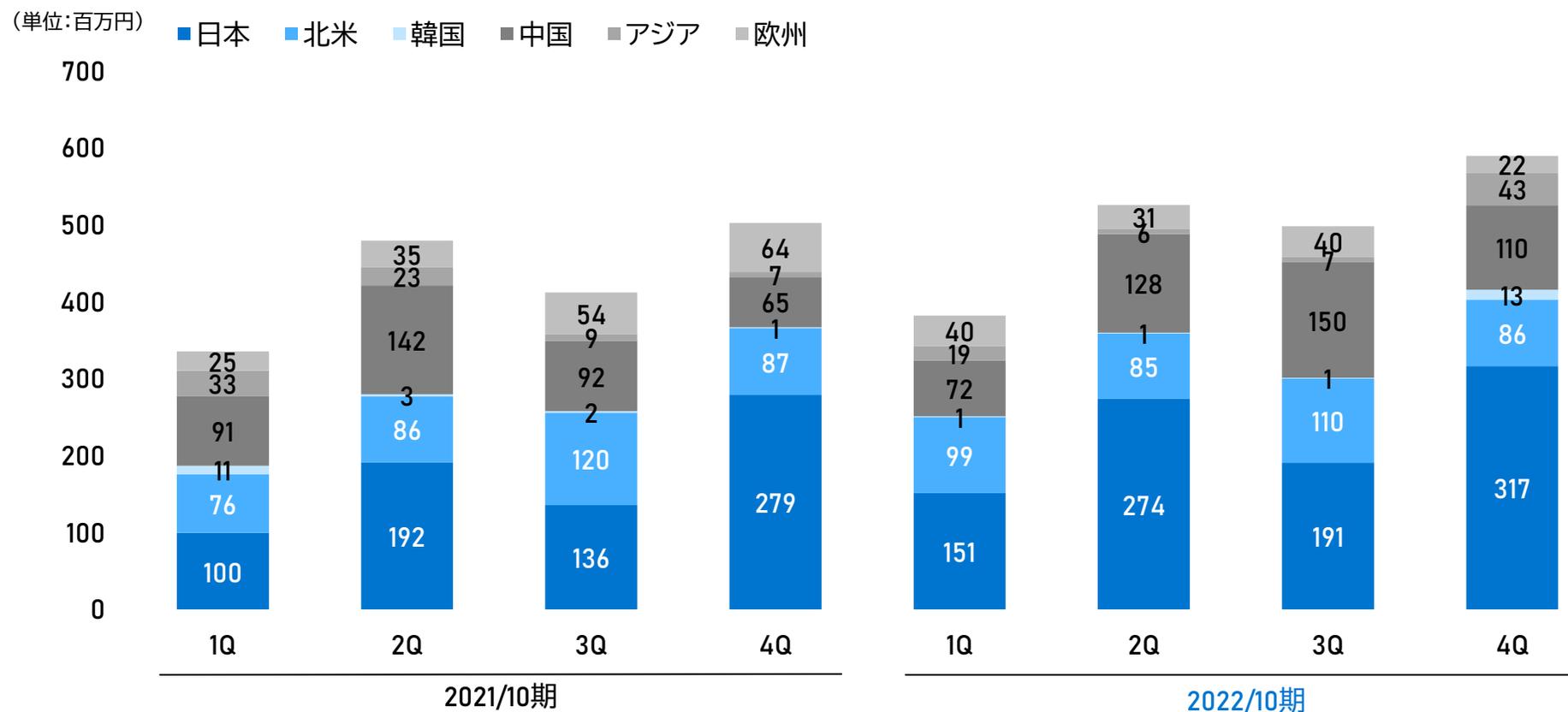


2022/10期累計



%はロイヤリティ収入に対する割合

- 日本：DX(OCR)及び車載機器向けの開発案件が好調に推移し、4Q(8～10月)ではYoY+13.6%、QoQ+65.9%
- 北米：主要顧客からのロイヤリティ収入が安定的に推移
- 中国：ロイヤリティ収入が回復トレンドを維持し、4Q(8～10月)ではYoY+69.2%



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠

AIを活用したビデオ会議向け背景ぼかし技術の開発を強化

- AIにより高精度なセグメンテーションや人単位認識が可能
- 奥行きも推定することで、離れたところに写る人物は非参加者と判断し、背景としてぼかします
- CPU使用率を最大限に抑え、電力消費の最適化を実施(CPU使用率<+5%、消費電力<+5W)
- 独自補間技術により、AI処理を削減。ハイスパックではないPCでも動作可能。

Result:離れた場所に人物がいる場合(背景としてぼかす)



Result:近い場所に人物がいる場合



ミックウェア社録画データ流通サービスに、道路の不具合検知技術を提供

- 2022年11月より足立区において、ミックウェア社の「Mvcube™」を活用した道路監視の実証実験が開始
- 足立区を走行するゴミ収集車の通信型ドライブレコーダーで録画されたデータはクラウドに収集され、モルフォのAI解析技術により、道路の不具合を検知します。



ミックウェアに納品した、道路のひび割れ、白線のカスレを自動検知するソフトウェア

スーパーコンピュータ「富岳」における深層学習を用いた3Dシミュレーションを支援

- 東京大学、東北大学、神戸大学が推進する、深層学習による超新星爆発シエルの膨張予測を用いた高解像度銀河形成シミュレーションの高速化プロジェクトに、モルフォの主要製品の一つである世界最速級ディープラーニング推論エンジン『SoftNeuro®』を提供
- 『SoftNeuro』の提供を通じ、スーパーコンピュータ「富岳」における深層学習を用いた3Dシミュレーション(銀河形成シミュレーション)の推論高速化を支援

東京大学 理学系研究科天文学専攻 平島敬也様からのコメント

我々が開発した3D CNNベースの深層学習モデルは、銀河形成シミュレーション内の流体計算の一部を予測し、ボトルネック解消をサポートします。これまで、深層学習による推論は実際のシミュレーションで使用できるような速度ではありませんでしたが、『SoftNeuro』により本モデルが高速化されたことで、銀河形成シミュレーション中で実用可能となりました。

営業赤字縮小を加速させ、2024年10月期黒字転換を目指す

- SD領域において海外顧客との取引拡大によりロイヤリティ収入を拡大する
- 車載/モビリティ及びDX領域で国内大手企業との取引を中心にした大型開発案件獲得により開発収入を拡大する

(単位:百万円)	2022/10期 通期連結業績	2023/10期 通期連結業績予想	増減	要因
売上	1,997	2,400	+403	海外におけるSD(スマホ・PC)関連のロイヤリティ収入増加 国内における車載/モビリティ・DX関連の開発収入増加
営業費用	2,585	2,650	+65	
営業利益	△588	△250	+338	
経常利益	△511	△250	+261	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△668	△329	+339	20期売上増加による利益改善と19期特別損失(資産減損処理)の影響

A large, intricate wireframe butterfly graphic on the left side of the slide. It is composed of numerous white dots connected by thin white lines, creating a mesh-like structure that defines the shape of the butterfly's wings and body. The butterfly is positioned on the left side of the slide, facing right.

Thank you

お問い合わせ先
コーポレート戦略部 IR担当
E-Mail: m-info-ir@morphoinc.com